

千葉県大網白里町の総合事業について

(路線バスの利便性の向上・公共交通空白地域の改善)

現況及び課題

- 町内には、12路線のバス路線が運行されているが、利用者数は、減少傾向にあり、少子高齢化への対応、環境面での貢献等の観点や、自家用車に過度に依存した状況を改善するためバス交通の利便性の向上が必要である。
- 町内には、主に町境に沿って、公共交通空白地域が存在し、これら地域住民の生活交通の足の確保が課題になっているため、移動ニーズに適した新たな公共交通システムの導入について検討する必要がある。
- 町の公共交通の大半は民間交通事業者が担っているが、それだけでは、町内の公共交通を確保することが困難であり、住民や行政が下支えすることにより、公共交通を守り育てることが必要である。

活性化の目標・方向性

- 路線バスを町内の基幹交通として位置付け、サービスの充実を図る。路線バス利用者数 目標 272,000人/年
- 路線バスで対応できない地域については、新たな公共交通システムの導入を目指す。
- 住民・交通事業者及び行政との協働により持続可能な交通体系の実現を図る。

実施する事業の内容

- 路線バスの利便性の向上
 - ◆ バス停上屋、サイクルアンドバスライド駐輪場の整備(平成21年度～平成23年度)
 - ◆ バスマップの作成(平成22年度)
- 公共交通空白地域の改善
 - ◆ コミュニティバス実証運行事業(平成21年10月～平成23年度)
 - ・ 運行地区 増穂地区 ・ 運行本数 1日8本 ・ 運賃 100円～300円
 - ◆ 乗り合いタクシー実証運行事業(平成21年10月～平成23年度)
 - ・ 運行地区 白里地区 ・ 運行時間帯 8時～17時 ・ 運賃 100円～300円

千葉県大網白里町 : 総合事業の実施区域

大網白里町全図

